

神戸だより

台湾交流支援の会 2018.11発行 Vol.13

< シルバーカレッジ学園祭 > 桑田 邦憲

10月13日(土)私達の母校、神戸市シルバーカレッジで学園祭が開かれました。この学園祭はカレッジの学生が半年まえから実行委員会を作り、企画から運営までのすべてを自主運営で開催するものです。数えて第24回目の今回のテーマは「人の和 知恵の輪 心の絆」です。毎回新たなテーマが決められてこのテーマの下、学生約1200人が作品を展示したり、演技を発表したりして、日頃の学習の成果やクラブ活動の腕前を披露します。

当日は朝9時から午後4時まで構内のホール、ステージ、教室、中庭を使っていろいろな催し物が繰り広げられました。

ホールでは絵画、写真、書道、俳句、陶芸などの作品が展示され、教室では人気のバザーが行われ、和室では茶道部によるお茶席が設けられました。また中庭では19軒の模擬店が軒を連ね、工芸品のバザー、



< 正面入口 >



< ホールでの展示 >



< 中庭での模擬店 >

無農薬野菜や植木の販売、カレーや豚汁、うどんなどの提供が行われ、多くの人でにぎわいました。

なかでも一番の呼び物はステージです。ハワイアンや銭太鼓、軽音楽など29のグループ約300人が次々と登場、日頃の成果を発表すると大きな拍手がまきおこりました。この日は朝から夕方まで近隣の住民や卒業生も多数詰めかけ、大盛況の一日でした。



< フラダンス >



< 軽音楽 >



< 銭太鼓 >

＜「湊川隧道」通り抜け＞ 武藤 龍雄

11月18日は「土木の日」です。土木の「土」が「十と一」に、「木」が「十と八」にそれぞれ分解できることから、この日にしたそうです。2月9日を「肉の日」にしているのと同じような「シャレ」ですね。

毎年、この土木の日の前後に「湊川隧道」の通り抜け見学会が行われます。今年は11月11日に実施され、多くの見学者が訪れていました。

「湊川隧道」は、神戸市兵庫区にある会下山をくり抜いて造られた延長約600mの日本初の河川トンネルです。竣工は1901年(明治30年)ですが、120年以上も前の工事ですから今のような重機はなく、ツルハシやノミを使っての手掘りによるものでした。湧水や土砂の崩落もあり、

大変な難工事だったと伝えられています。隧道の構造は、側壁と天井、アーチ部分はレンガ積みで、床面は花崗岩の切り石を敷き詰められたものです。平成7年1月17日の阪神・淡路大震災により被災したため、新たに造られた「新湊川トンネル」にその流れを譲りましたが、近代

土木遺産として今も大切に保存されています。

地元の人にとっては宝物で、平成13年に湊川隧道保存友の会が設立され、それ以来、年1回の通り抜け見学会の他、原則、毎月第3土曜日に隧道入り口でミニコンサートなどの文化活動が催されています。



＜湊川隧道入口＞



＜湊川隧道中央部＞



＜新湊川トンネル、上は湊川隧道入口＞



＜湊川隧道入口展示コーナー＞

日程を合わせるのには難しいかもしれませんが、機会がありましたら是非足をお運びください。

天井の灯りに照らし出される幻想的な空間に、きっと感動されると思います。